



住友三井オートサービス



2008年10月24日

武田薬品工業株式会社

住友三井オートサービス株式会社

## 武田薬品の住友三井オートサービスを通じた電気自動車の導入について

このたび、武田薬品工業株式会社(本社:大阪府中央区、以下「武田薬品」)は、住友三井オートサービス株式会社(本社:東京都新宿区、以下「住友三井オートサービス」)を通じて、営業用社用車として電気自動車を導入することを決定しました。2009年度に、まずは東京都と神奈川県を中心に、富士重工業株式会社開発中の『プラグインステラ』を導入する予定です。2010年度以降は、東京都や神奈川県以外の営業用社用車についても、電気自動車の性能の向上度合いや生産量、長時間走行に必要な充電設備の設置状況を勘案しながら、順次、導入を検討してまいります。

武田薬品は、経営方針の一つとして、“ステークホルダーとともに発展し、良き企業市民としての高い認知を得る会社”を目指すことを掲げ、事業活動のあらゆる段階において環境保全活動を推進しています。販売活動においては、2008年3月より、東京都内の営業用社用車にハイブリッド車を試験導入し、10月からは、寒冷地区車両を除く全国の2WD車へ、本格的に導入し始めました。今後は、ハイブリッド車導入に並行して、より環境にやさしい電気自動車を導入することで、販売活動における温室効果ガスの削減にさらに取り組んでまいります。

一方、住友三井オートサービスは、“セーフティ&エコロジー”をキーワードにお客様の事故防止と省エネルギー促進に努めてまいりました。環境報告書の作成サポート、エコドライブの推進、エコフリート(排出権取引付自動車リース)の提供等によりお客様の環境に対する取り組みをサポートしております。

武田薬品の代表取締役社長 長谷川閑史は、「今回の住友三井オートサービスを通じた国内における電気自動車の導入によって、より環境に配慮した事業活動を展開できることを大変喜ばしく思います。今後も、タケダグループ全体で、地球温暖化防止に向けた取り組みを積極的に推進してまいります」と述べています。

住友三井オートサービスの取締役社長 加藤浩則は、「武田薬品の電気自動車導入は“クルマ社会の発展と地球環境の向上に貢献する”という当社の経営理念と合致しております。10月1日付で新設したエコドライブ推進部を中心に、より一層の環境社会への貢献とお客様の満足度の向上を追求してまいります」と述べています。

### ■報道機関お問い合わせ先

武田薬品工業株式会社

〒103-8668 東京都中央区日本橋二丁目12番10号

コーポレート・コミュニケーション部

TEL: 03-3278-2037

住友三井オートサービス株式会社

〒163-1434 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号

経営企画部

TEL:03-5358-6393